

東北厚生局管内における保険医療機関及び保険薬局の 指定及び廃止等状況について

厚生労働省 東北厚生局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

用語の解説

◆保険医療機関、保険薬局

健康保険法第63条第3項第1号に規定する厚生労働大臣の指定を受け、健康保険法等で規定する療養の給付を行う病院若しくは診療所（保険薬局においては薬局）

◆新規指定保険医療機関、新規指定保険薬局

保険医療機関（保険薬局）として新規に指定を受けた機関（以下、文中「新規指定機関」との略称を用いている部分はこれにあたります。）

◆廃止等保険医療機関、廃止等保険薬局

機関を廃止、保険診療（薬局においては「保険調剤」）を辞退（※）した保険医療機関（保険薬局）（以下、文中「廃止等機関」との略称を用いている部分はこれにあたります。）

※保険診療（保険調剤）を行わないことを地方厚生（支）局に届出し受理された状態を示します。

◆東北平均

東北6県（東北厚生局管内）の平均を示します。

本資料の数値について

◆機関数

保険医療機関または保険薬局より東北厚生局に届出された件数をもとに、令和4年12月21日時点で集計した機関数となっています。

※このため、当局がホームページ上に掲載している機関数と異なる場合があります。

医科併設数及び歯科併設数は、新規指定保険医療機関数、廃止等保険医療機関数の数値に計上されています。

※このため、新規指定保険医療機関数と廃止等保険医療機関数の差が、総保険医療機関数の増減と一致しない場合があります。

◆人口総数

令和2年国勢調査

1

山形県（山形事務所）

医科

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

山形県

医科（新規指定）

分析結果

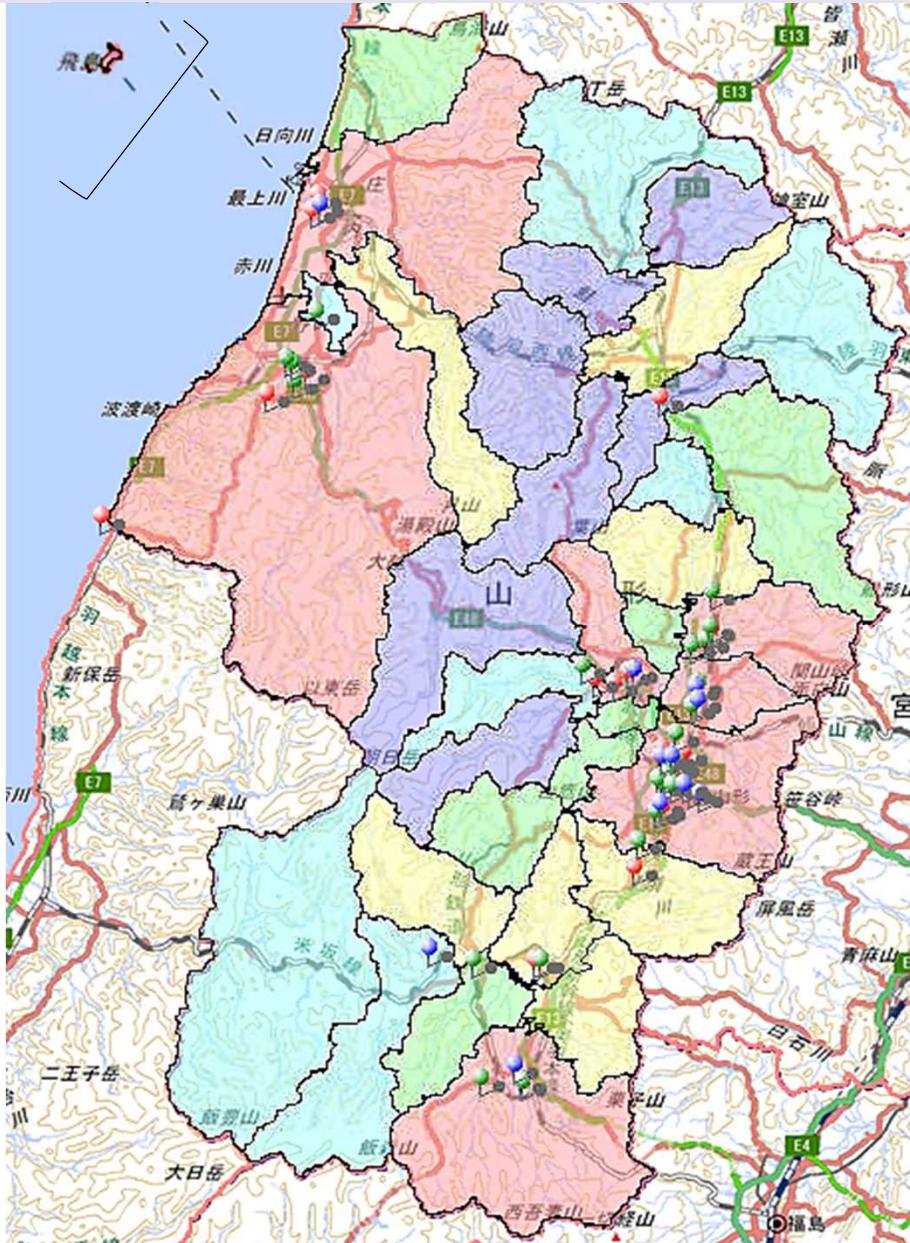
- 令和元年度から令和3年度までの過去3年間の新規指定機関は、山形県の人口集中地域である山形市及び管内の主要交通網である国道13号線沿いに集中している。
- 人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での新規指定機関数が50件（84.7%）であった。
- また、残りの9件は、国道13号線沿いの自治体以外では庄内地域や置賜地域にみられた。
- 他方、20自治体では、新規指定機関はないことが確認できる。

山形県内の新規指定保険医療機関状況 及び県内の人口総数

新規指定保険医療機関（医科）

- : 令和元年度
- : 令和2年度
- : 令和3年度

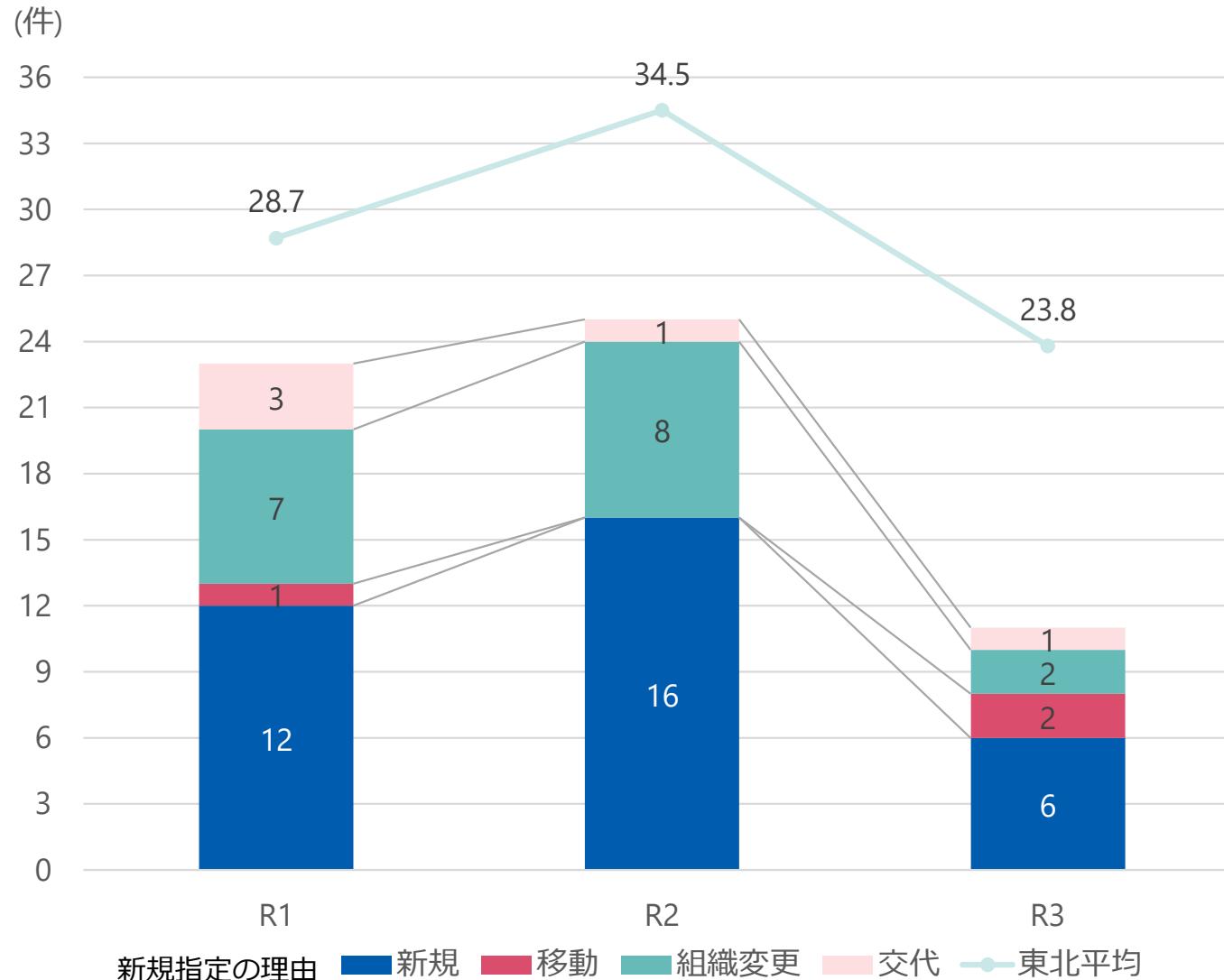
2020年 国勢調査 市区町村



分析結果

- 山形県内における新規指定機関数は、令和元年度23件、令和2年度25件、令和3年度11件と東北平均と同じように上下しながら推移している。
- 山形県の新規指定機関数は、常に東北平均を下回っている。
- 新規指定の理由では、東北平均割合と比べ、移動による割合が低く、新規による割合が高いことが確認できる。

山形県内の新規指定保険医療機関（医科）数の推移



山形県

医科（廃止等）

分析結果

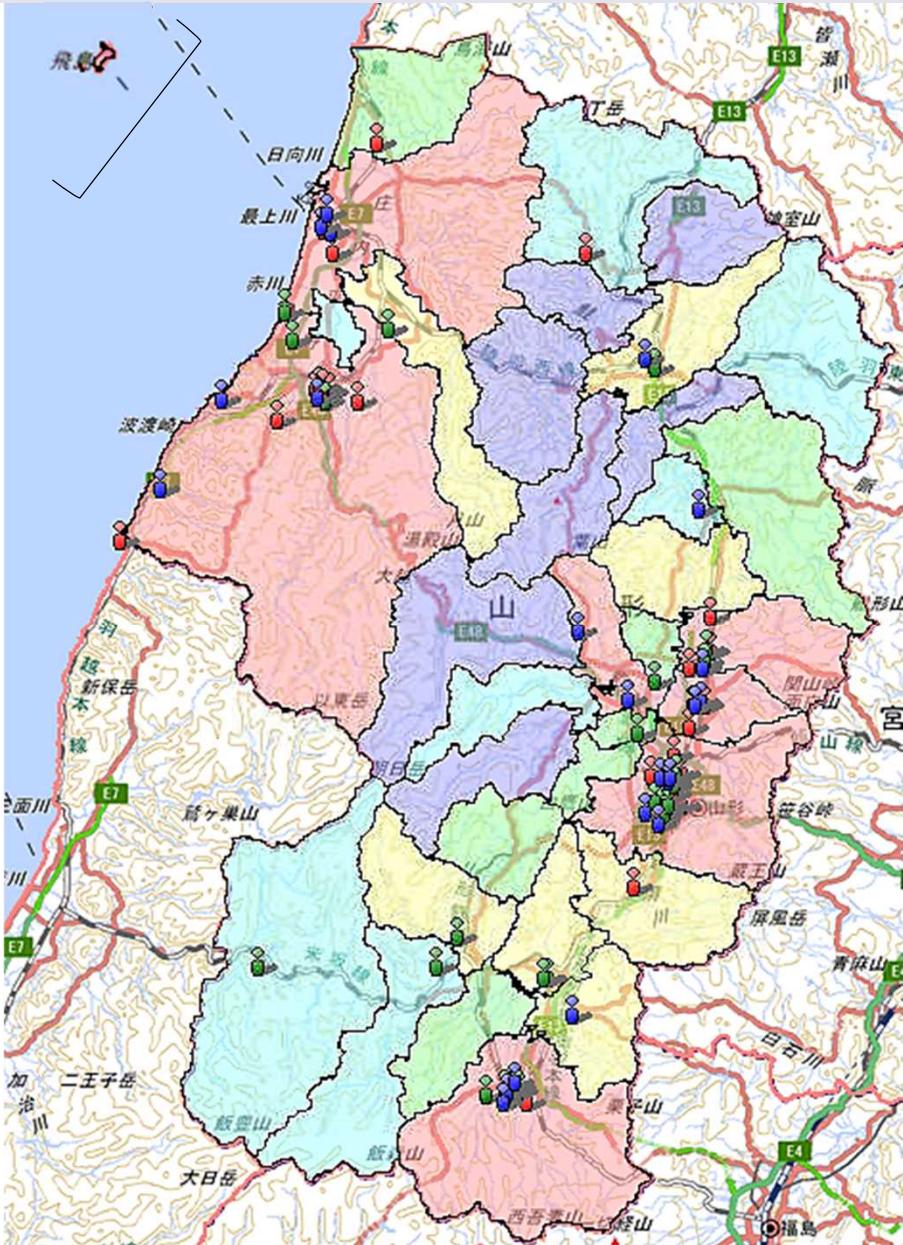
- 令和元年度から令和3年度までの過去3年間の廃止等機関は、山形県の人口集中地域である山形市及び管内の主要交通網である国道13号線沿いに集中している。
- 人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での新規指定機関数が60件（78.9%）であった。
- また、残りの16件は、国道13号線沿いの自治体以外では庄内地域や置賜地域にみられた。
- 他方、14自治体では、新規指定機関はないことが確認できる。

山形県内の廃止等 保険医療機関状況 及び県内の人口総数

廃止等保険医療機関（医科）

- 令和元年度
- 令和2年度
- 令和3年度

2020年国勢調査 市区町村



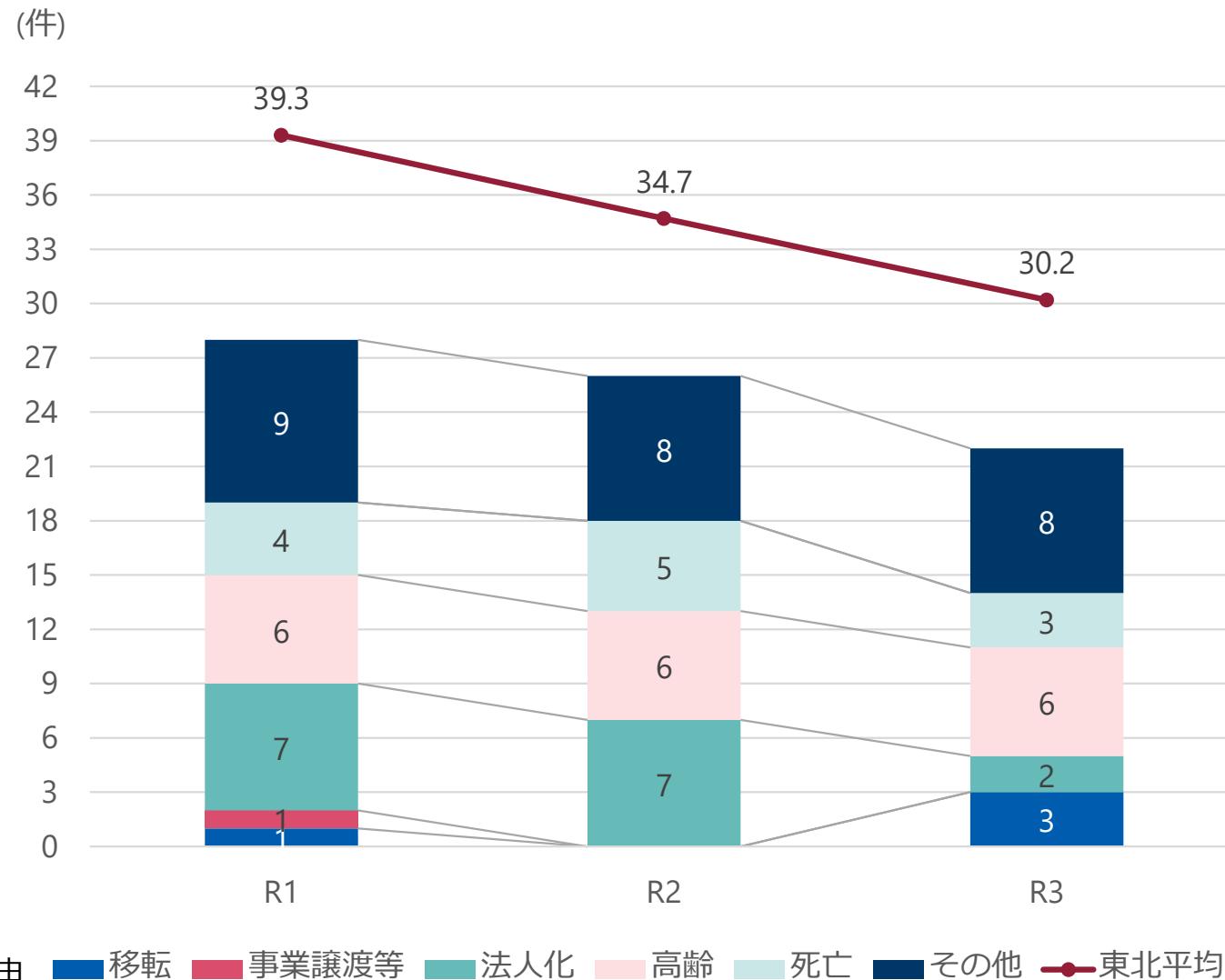
山形県

医科（廃止等）

分析結果

- 山形県内における廃止等機関数は、令和元年度28件、令和2年度26件、令和3年度22件と東北平均と同様に減少傾向で推移している。
- 山形県内の廃止等機関数は、常に東北平均を下回っている。
- 廃止等の理由では、東北平均割合と比べ、移転、事業譲渡等による割合が低く、高齢、死亡による割合が高いことが確認できる。

山形県内の廃止等保険医療機関（医科）数の推移



山形県

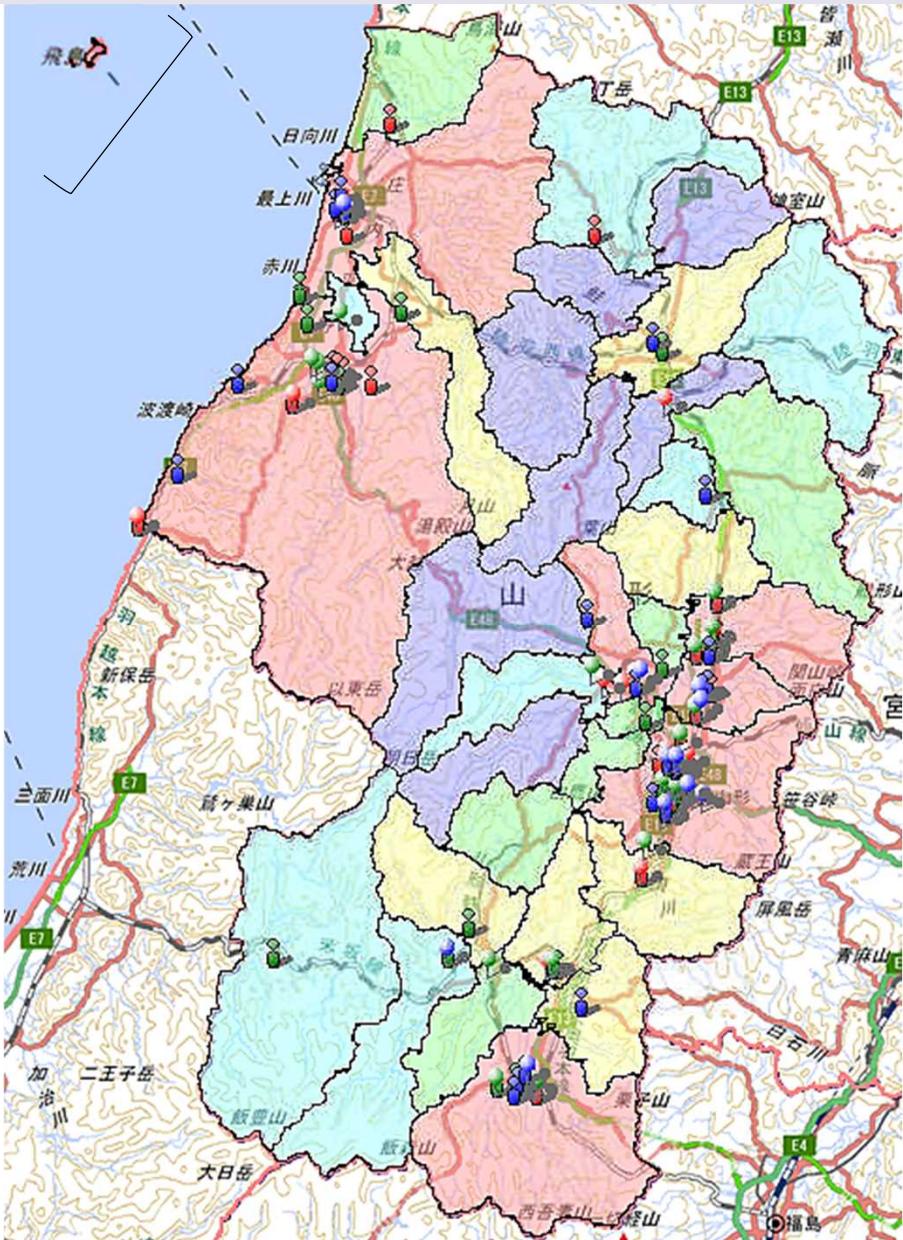
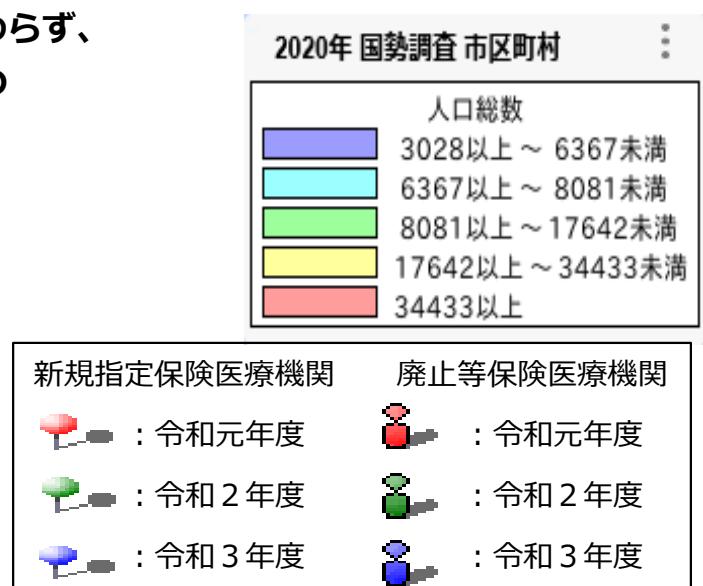
医科（総合）

分析結果

- 山形県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、新規指定機関は山形市とその他主要都市に集中しているのに対し、廃止等機関は県内の各所に幅広く分布していることがわかる。
- 村上地方においては、唯一新規指定機関が廃止等機関を上回ったが、新規指定機関が少ないにもかかわらず、廃止等機関が多く、医療資源の低下が懸念される。

（特に、庄内地方）

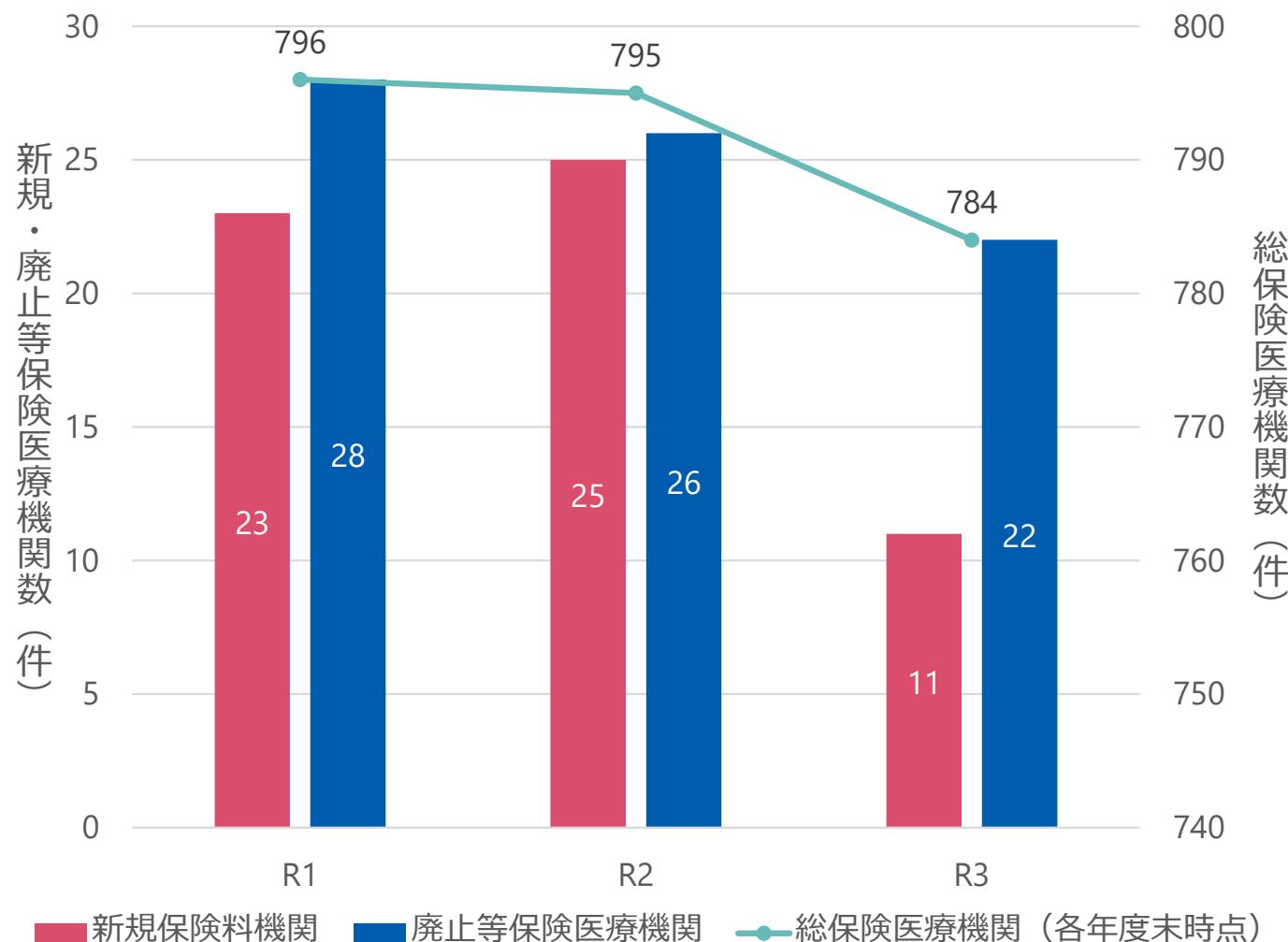
山形県内の新規・廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数



分析結果

- 山形県内における保険医療機関の総数は令和元年度796件、令和2年度795件、令和3年度784件と減少傾向で推移している。
- 過去3年間において、新規指定機関数よりも廃止等機関数が常に上回っている。
- 廃止等の理由が「高齢」又は「死亡」によるもので、新規指定機関がない自治体における保険医療機関数の減少が懸念される。

山形県内新規・廃止等保険医療機関（医科）数と
総保険医療機関（医科）数の推移



山形県（山形事務所）

歯科

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

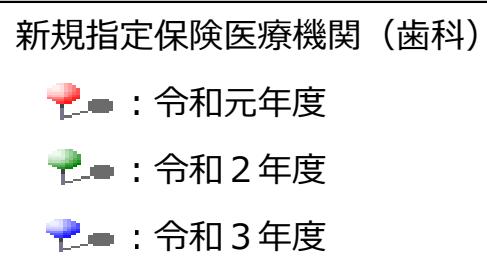
山形県

歯科（新規指定）

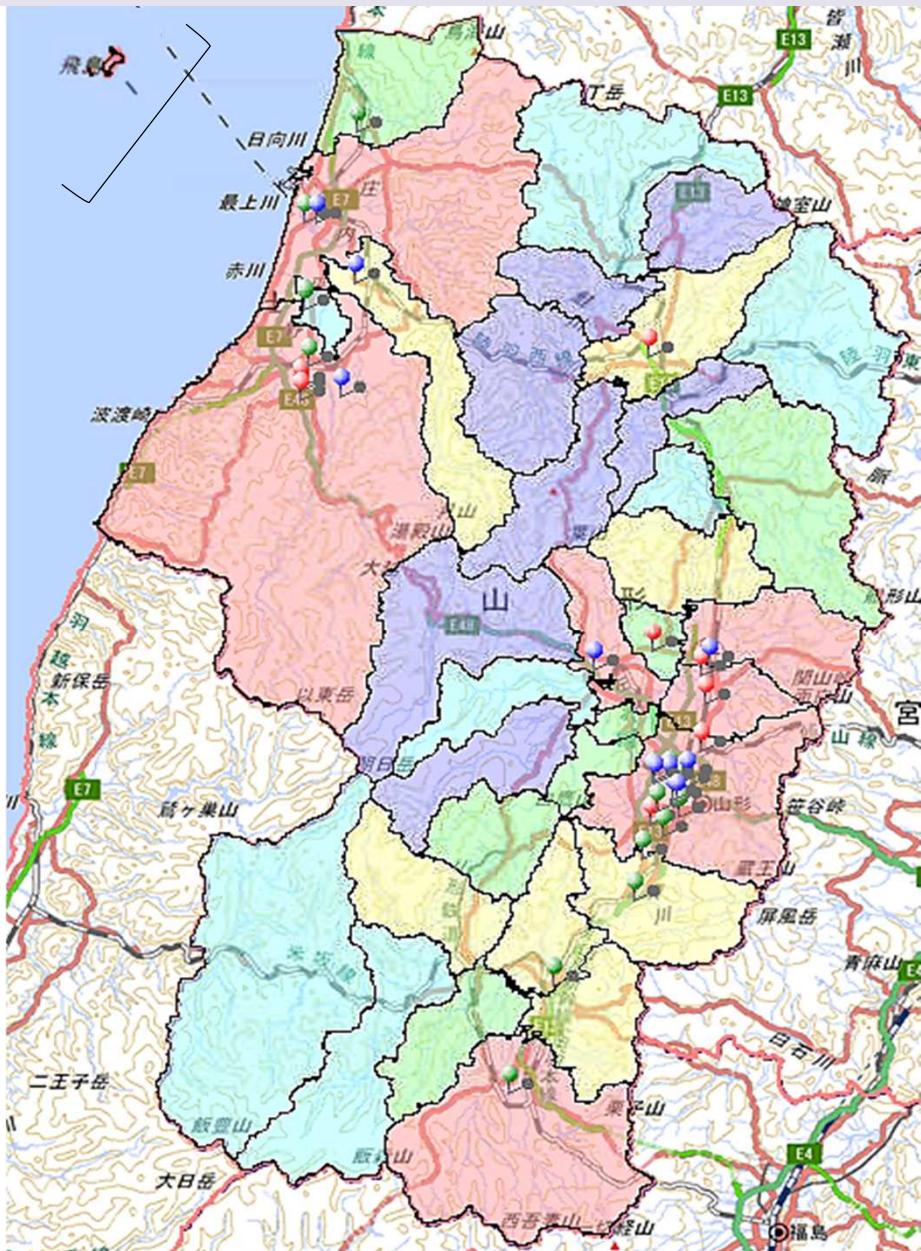
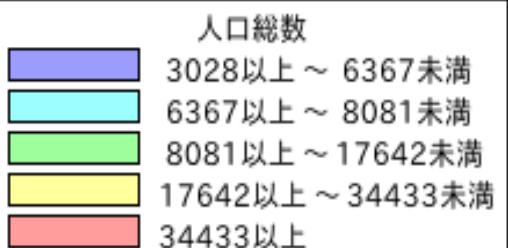
分析結果

- 令和元年度から令和3年度までの過去3年間の新規指定機関は、山形県の人口集中地域である山形市及び管内の主要交通網である国道13号線沿いに集中している。
- 人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での新規指定機関が26件（78.8%）であった。
- また、残りの7件は、国道13号線沿いの自治体以外では庄内地域や置賜地域にみられた。
- 他方、21自治体では、新規指定機関はないことが確認できる。

山形県内の新規指定保険医療機関状況及び県内の人口総数



2020年 国勢調査 市区町村



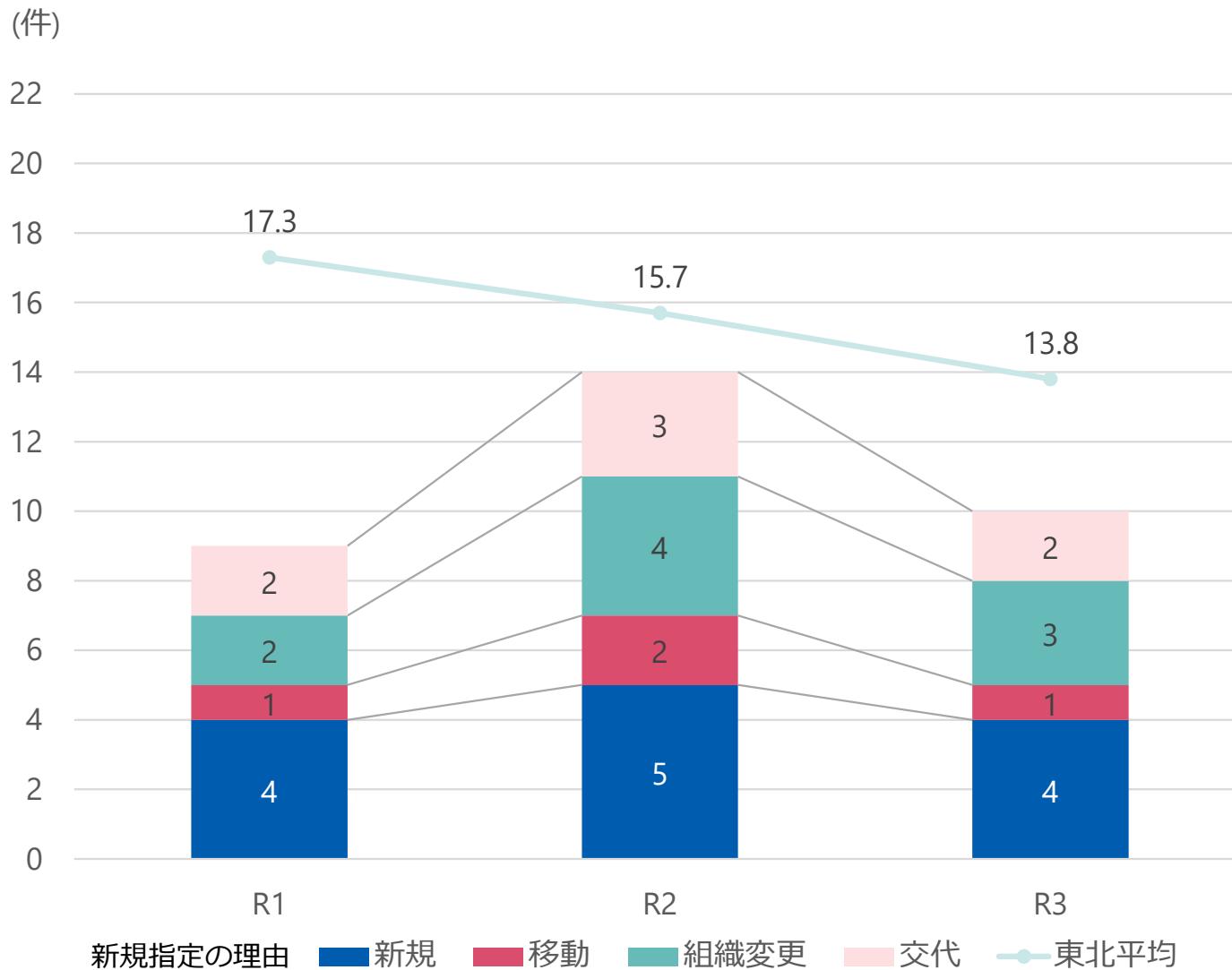
山形県

歯科（新規指定）

分析結果

- 山形県内における新規指定機関数は、令和元年度9件、令和2年度14件、令和3年度10件と上下しながら推移している。
- 山形県の新規指定機関数は、常に東北平均を下回っている。
- 新規指定の理由では、東北平均割合と比べ、交代による割合が低く、組織変更による割合が高いことが確認できる。

山形県内の新規指定保険医療機関（歯科）数の推移



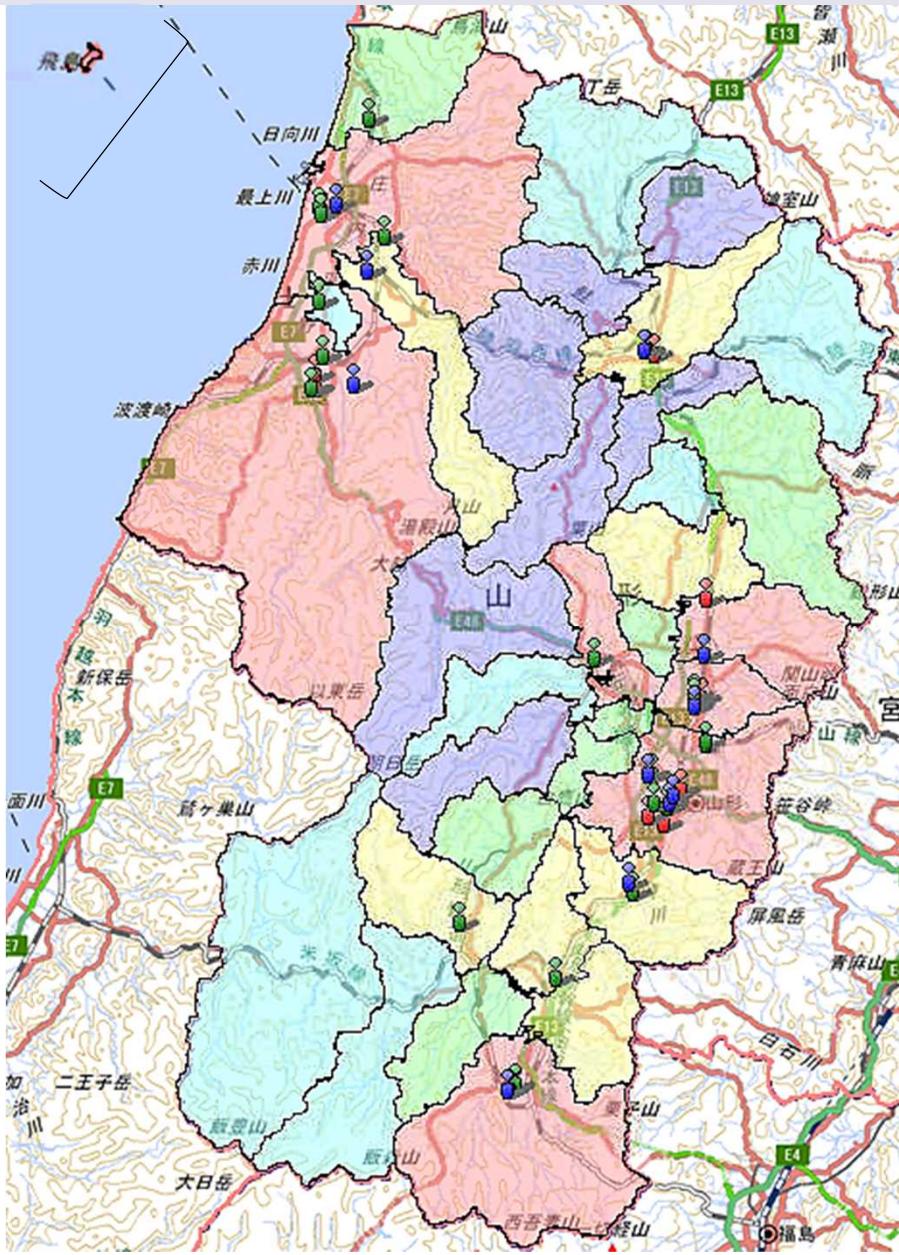
山形県

歯科（廃止等）

分析結果

- ・ 令和元年度から令和3年度までの過去3年間の廃止等機関は、山形県の人口集中地域である山形市及び管内の主要交通網である国道13号線沿いに集中している。
 - ・ 人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での廃止等機関が33件（76.7%）であった。
 - ・ また、残りの10件は、国道13号線沿いの自治体以外では庄内地域にみられた。
 - ・ 他方、20自治体では、新規指定機関はないことが確認できる。

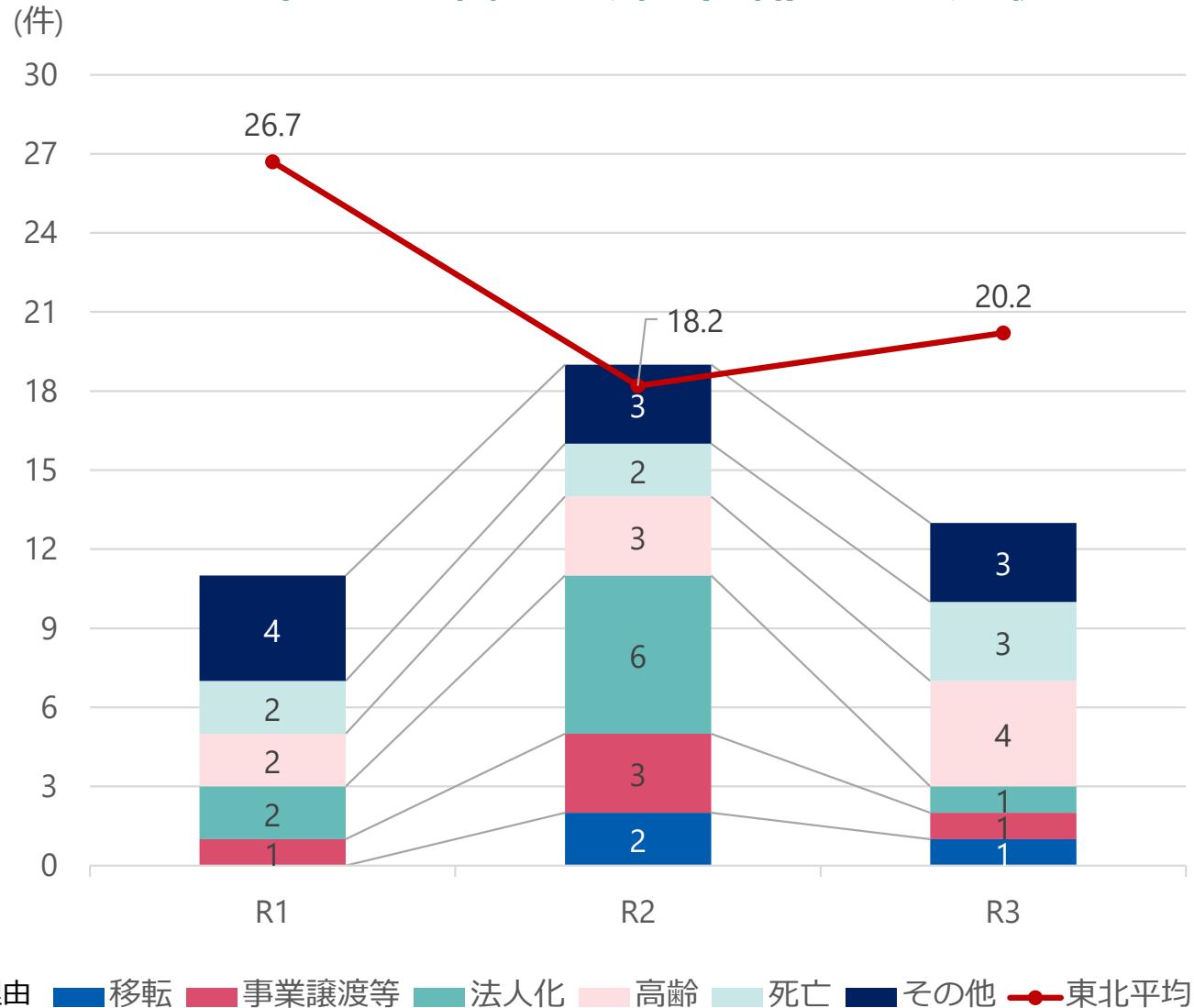
山形県内の廃止等 保険医療機関状況 及び県内の人口総数



分析結果

- 山形県内における廃止等機関は、令和元年度11件、令和2年度19件、令和3年度13件と上下しながら推移している。
- 山形県の廃止等機関数は、令和2年度には東北平均を上回っているが、令和3年度には再度下回っている。
- 廃止等の理由では、東北平均割合と比べ、その他の割合が低く、法人化、高齢、死亡の割合が高いことが確認できる。

山形県内廃止等保険医療機関（歯科）の指定数推移



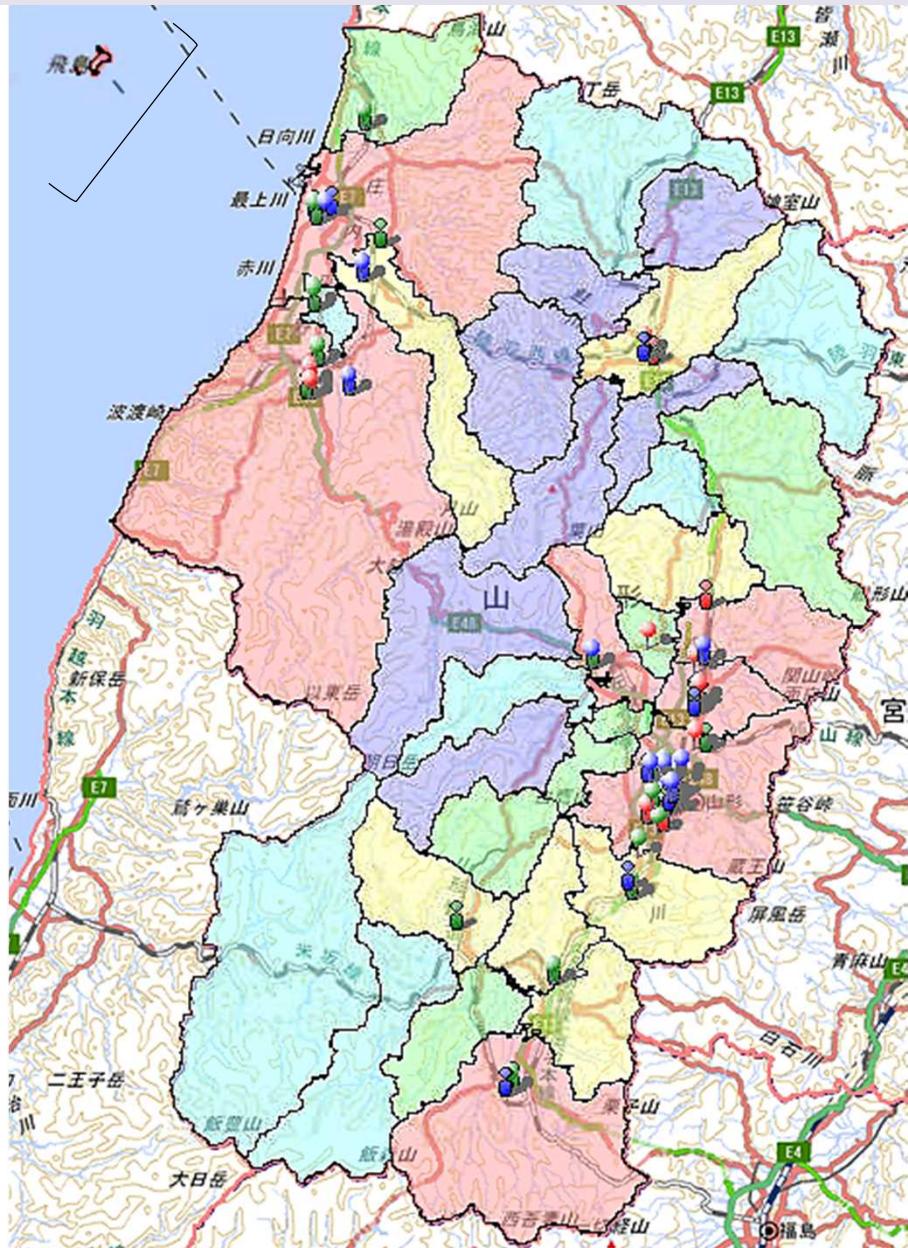
山形県

歯科(総合)

分析結果

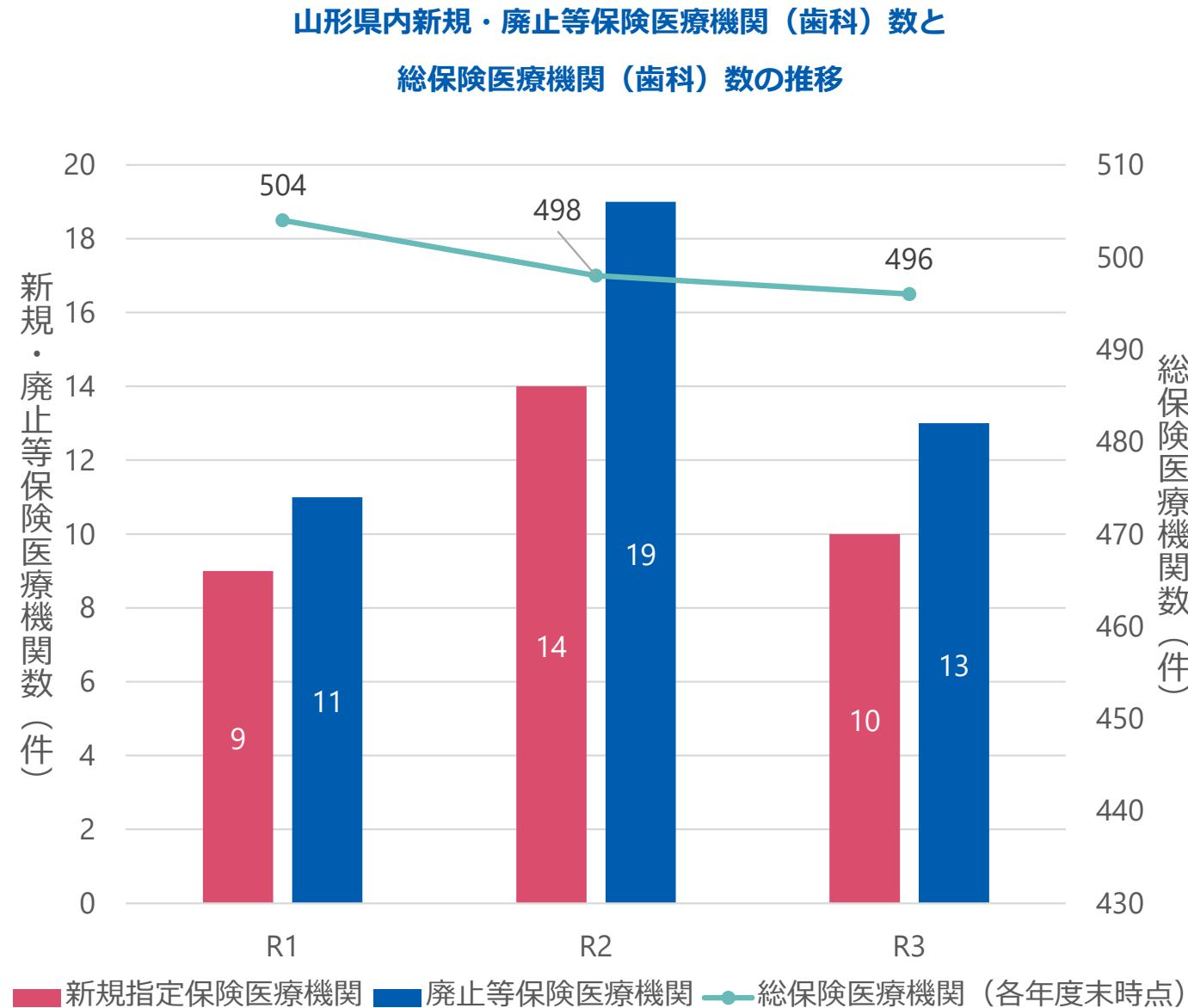
- 山形県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、新規指定機関と廃止等機関は若干の散らばりはあるものの、その多くが主要都市周辺に集中していることが確認できる。
- 新規指定機関が少ないにもかかわらず、廃止等機関が多く、医療資源の低下が懸念される。(特に、最上地方、置賜地方)
- 一方で、山形市、東根市及び河北町においては、少数ではあるが、新規指定機関数が廃止等機関数を上回っている。

山形県内の新規・廃止等 保険医療機関状況 及び県内の人口総数



分析結果

- 山形県内における保険医療機関の総数は、令和元年度504件、令和2年度498件、令和3年度496件と減少傾向にある。
- 過去3年間の新規指定機関数は廃止等機関数を常に下回った。



3

山形県（山形事務所）

調剤

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

山形県

調剤（新規指定）

分析結果

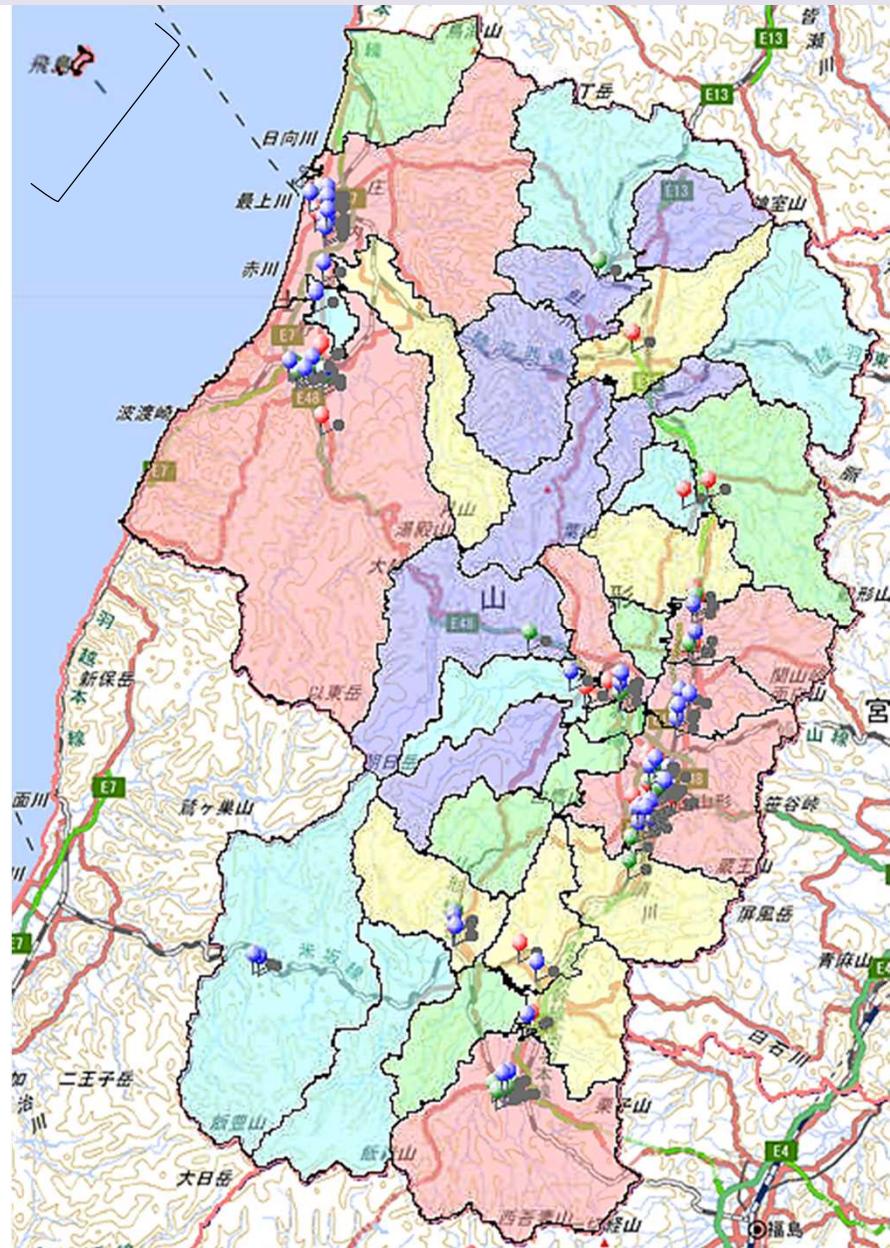
- 令和元年度から令和3年度までの過去3年間の新規指定機関は、山形県の人口集中地域である山形市及び管内の主要交通網である国道13号線沿いに集中している。
- 人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での新規指定機関が93件（80.9%）であった。
- また、残りの22件は、国道13号線沿いの自治体以外では村山地域、庄内地域や置賜地域にみられた。
- 他方、15自治体では、新規指定機関はないことが確認できる。

山形県内の新規指定保険薬局状況及び県内の人口総数

新規指定保険薬局

- ：令和元年度
- ：令和2年度
- ：令和3年度

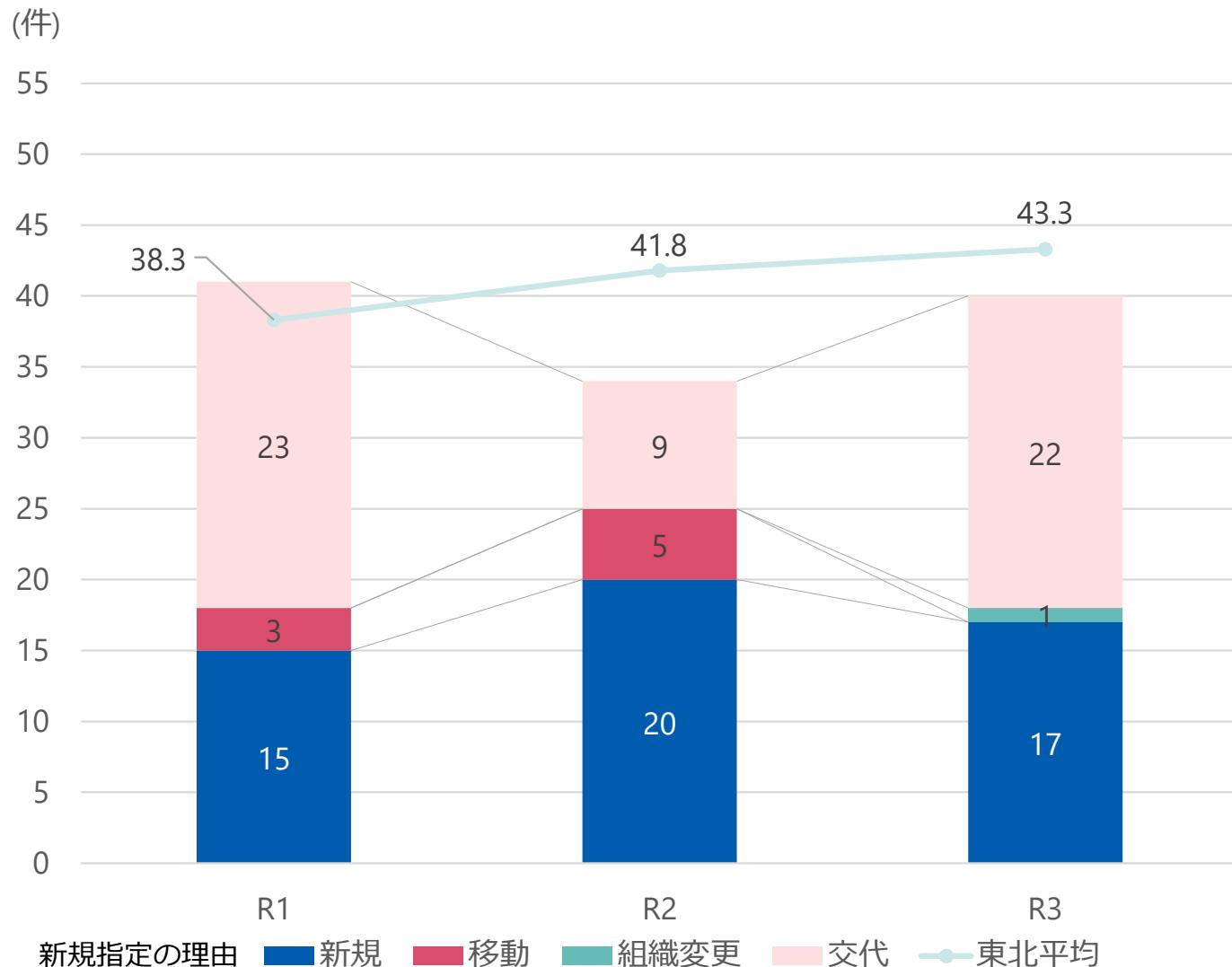
2020年 国勢調査 市区町村



分析結果

- 山形県内における新規指定機関数は、令和元年度41件、令和2年度34件、令和3年度40件と上下しながら推移している。
- 山形県の新規指定機関数は、令和元年度は東北平均を上回ったが、令和2年度以降は、東北平均を下回っている。
- 新規指定の理由では、東北平均割合と比べ、新規による割合が低く、交代による割合が高いことが確認できる。

山形県内の新規指定保険薬局の数の推移



山形県

調剤（廃止等）

分析結果

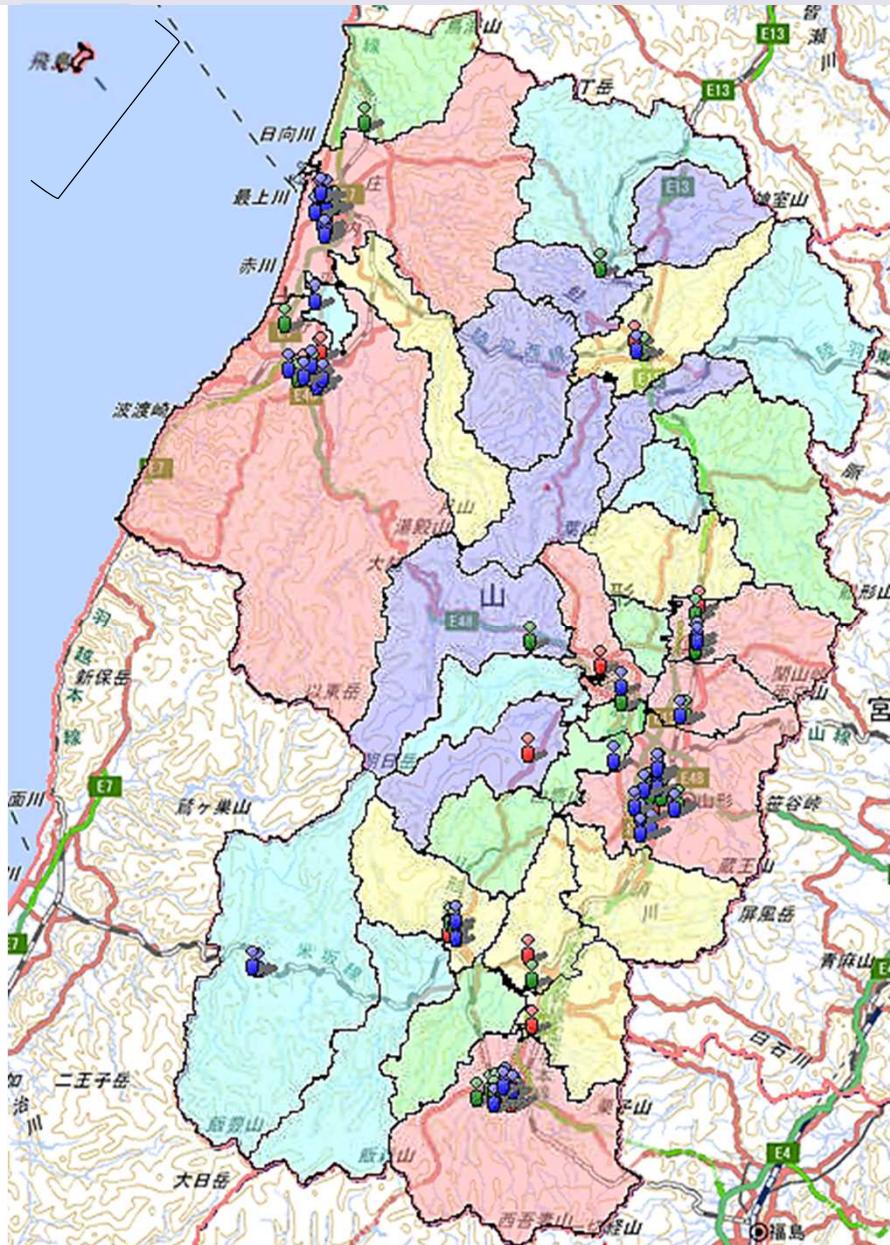
- 令和元年度から令和3年度までの過去3年間の廃止等機関は、山形県の人口集中地域である山形市及び管内の主要交通網である国道13号線沿いに集中している。
- 人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での新規指定機関が86件（79.6%）であった。
- また、残りの22件は、人口総数の多少に関わらず山形県内各地に幅広く確認できる。
- 他方、16自治体では、新規指定機関はないことが確認できる。

山形県内の廃止等 保険薬局状況 及び県内の人口総数

廃止等保険薬局

- 赤色：令和元年度
- 緑色：令和2年度
- 青色：令和3年度

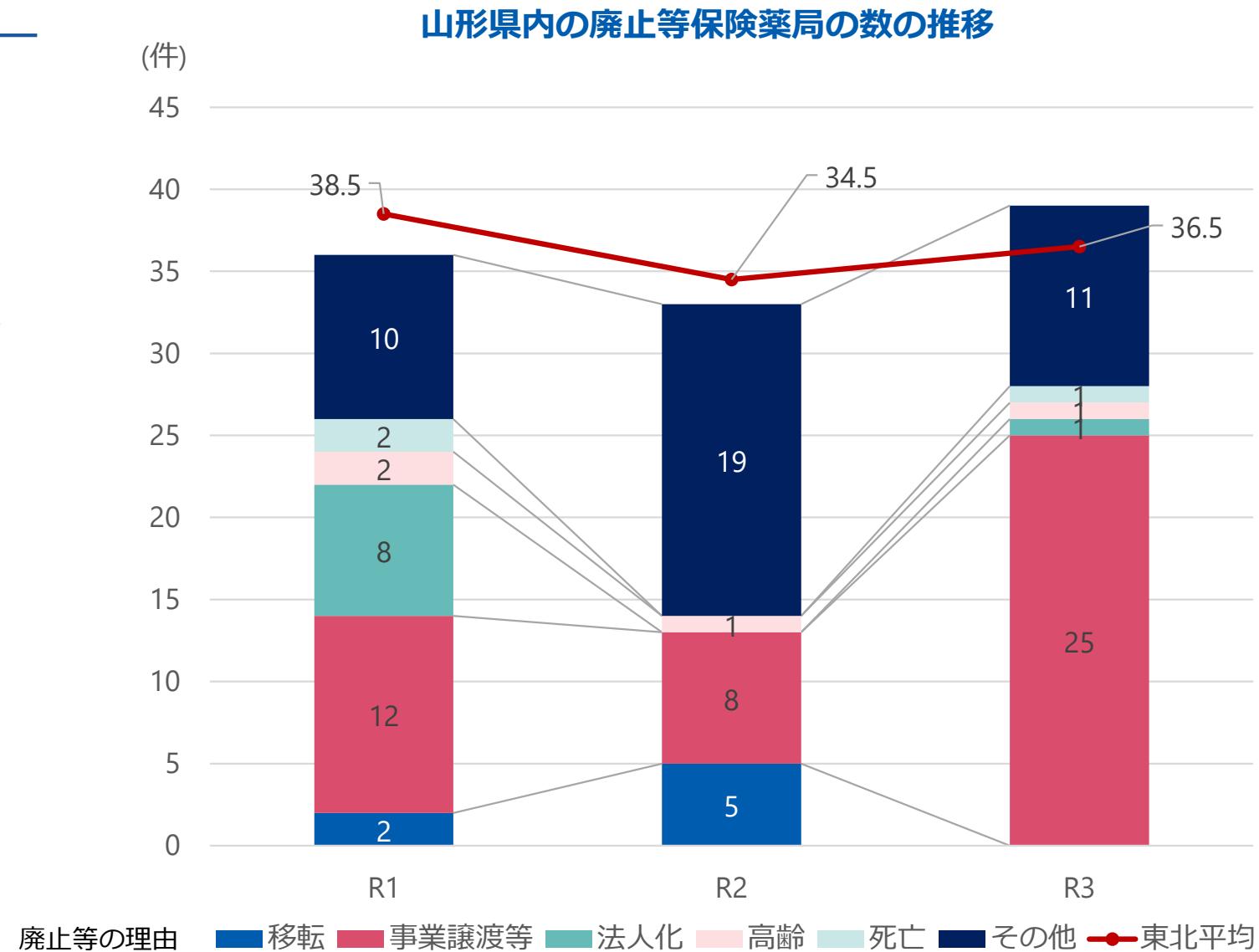
2020年 国勢調査 市区町村



調剤（廃止等）

分析結果

- 山形県内における廃止等機関数は、令和元年度36件、令和2年度33件、令和3年度39件と上下しながら推移している。
- 山形県内における廃止等機関数は、令和2年度までは、東北平均を下回ったが、令和3年度には東北平均を上回っている。
- 廃止等の理由では、東北平均割合と比べ、高齢、死亡による割合が高いことが確認できる。



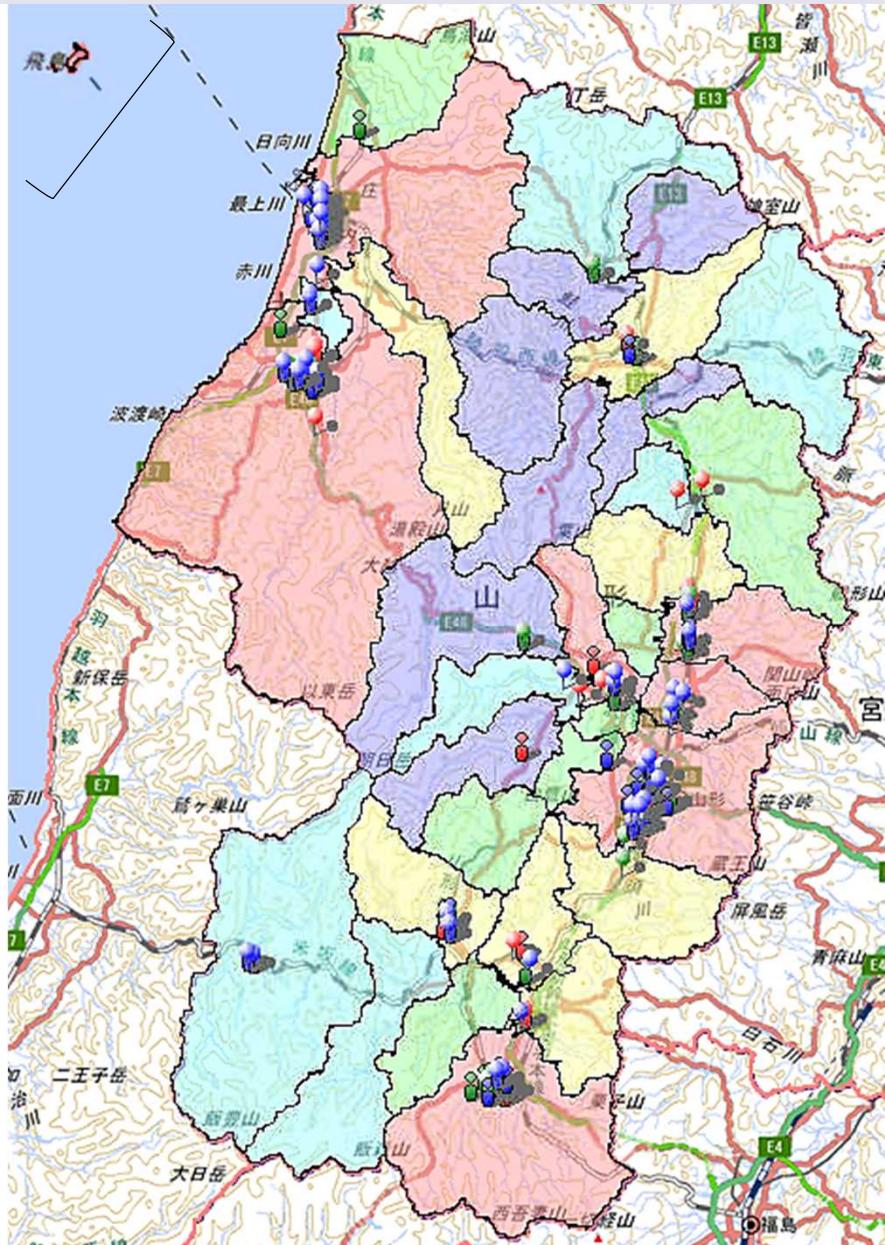
山形県

調剤（総合）

分析結果

- 山形県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、医科及び歯科と比べ新規指定、廃止等機関が人口集中地域に集中している。
- 村上地方及び庄内地方においては、新規指定機関数が廃止等機関数を上回っている。
- 一方で、新規指定機関が少ないにもかかわらず、廃止等機関が多く、医療資源の低下が懸念される。（特に、最上地方、置賜地方）

山形県内の新規・廃止等保険薬局状況及び県内の人口総数



山形県

調剤（総合）

分析結果

- 山形県内における保険薬局の総数は、令和元年度578件、令和2年度579件、令和3年度580件とほぼ同程度であるが、微増傾向にある。
- 新規指定機関数は、過去3年間ににおいて常に廃止等機関数を上回っている。

山形県内新規・廃止等保険薬局数と総保険薬局数の推移

